

長い夏休みも終わり、子ども達の日焼けした顔が園庭にもどってきます。この休みの間に、一人一人の子にそれぞれの貴重な生活があり、その体験が、その子を大きく成長させるのでしょう。

*

息子は二年生になりました。学校から帰ると、ランドセルを放り出して、50円持ってとび出します。水風船で遊ぶのです。このところ毎日、びしょぬれで帰ってくる日が続いています。

ある日のこと、「公園じゃ遊べないから、うちで遊ぶ」と言って、友達三人ともどってきて、家の前の狭い私道で遊ぶことになりました。

「公園の水道、使っちゃいけないんだって！」

きつと、水かけっこをやりすぎて、見かねた大人に注意されたのでしょう。こうやって、子どもから遊びがとり上げられていくのでしょうか。思いつきり、水かけっこしたいのに……。

学校の校庭は、大きい子のサッカーや野球の邪魔になり、又、小さい子が走りまわっていると危ない。公園では、他人の迷惑になる。家庭では庭もなく、遊ぶスペースもない。ということ。「水遊び、やめなさい」になっていくのです。

家の前では、びしょぬれになった四人が、何がおもしろいのか仔犬のようにじゃれあって、大さわぎをして遊んでいます。(…楽しそう！)

「もつと広い所で水遊びしたいのに：洋服なんかぬれたっていい。おもしろいんだもん」という子どもの声は、聞こえそうで聞こえてきません。大人からの注意の言葉に、何となく、素直に納得している子ども達なのです。

我を忘れて熱中する…そんなことが本当にできにくい環境になりました。遊ぶ時には思いつきり遊ばせないで、勉強する時になると「集中力!!」と要求する…何と身勝手な、大人の「子ども管理」なのでしょううか。

(K)

幼児の教育

第九十巻 第九号
(一九九一年九月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成三年九月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一一一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五一一二一一

発売所 株式会社 フレーベル館

東京都千代田区神田小川町三一

振替口座 東京九一一九六四〇

電話 〇三二三二九二七七八一

●本誌購読のご注文は、発売所フレーベル館にお願いいたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。